

第3回フォローアップ調査における所見(案)

No	大学名	書面 審査	実地 調査	第3回フォローアップ調査における指摘事項	(参考) 平成24年度フォローアップ調査における 指摘事項
1	北海道大学	○		■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。	
2	東北大学	○	○	■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。	
3	東京医科歯科大学	○		■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。	■入学定員(募集人員)超過を是正すること。
4	新潟大学	○		■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。	
5	大阪大学	○		■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。	
6	岡山大学	○		■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。	
7	広島大学	○	○	■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。	
8	徳島大学	○	○	■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。	
9	九州大学	○	○	■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。	■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。
10	長崎大学	○		■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。	

No	大学名	書面 審査	実地 調査	第3回フォローアップ調査における指摘事項	(参考) 平成24年度フォローアップ調査における 指摘事項
11	鹿児島大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。
12	九州歯科大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 	
13	北海道医療大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。
14	岩手医科大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	
15	奥羽大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	
16	明海大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)超過を是正すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。

No	大学名	書面 審査	実地 調査	第3回フォローアップ調査における指摘事項	(参考) 平成24年度フォローアップ調査における 指摘事項
17	東京歯科大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 	/
18	昭和大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 	/
19	日本大学 歯学部	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)超過を是正すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。
20	日本大学 松戸歯学部	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■超高齢社会を迎え、需要の高い地域医療教育への取組を進めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■募集人員超過を是正すること。 ■優れた入学者の確保に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。
21	日本歯科大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	/
22	日本歯科大学 新潟生命歯学部	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■募集人員超過を是正すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。

No	大学名	書面 審査	実地 調査	第3回フォローアップ調査における指摘事項	(参考) 平成24年度フォローアップ調査における 指摘事項
23	神奈川歯科大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。
24	鶴見大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■在宅歯科診療や多職種連携に係る教育は講義が主となっているため、実地体験の導入を検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■全体として、学生の学力向上の実が上がるよう、教育内容・方法の改善に努めること。
25	松本歯科大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■歯科医師抑制に関する閣議決定(S61.7、H10.5)及び質の高い歯科医師を養成する観点を十分に踏まえ、平成21年度に設定した募集人員を遵守するとともに、今後の入学定員(募集人員)の在り方について、厳正に対応すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■募集人員超過を是正すること。 ■歯科医師抑制に関する閣議決定(S61.7、H10.5)及び質の高い歯科医師を養成する観点を十分に踏まえ、平成21年度に設定した募集人員を遵守するとともに、今後の入学定員(募集人員)の在り方について、厳正に対応すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実を努めること。

No	大学名	書面 審査	実地 調査	第3回フォローアップ調査における指摘事項	(参考) 平成24年度フォローアップ調査における 指摘事項
26	朝日大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)超過を是正すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■全体として、学力向上の実が上がるよう教育内容、方法の改善に努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。
27	愛知学院大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■入学定員(募集人員)を遵守すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■高齢者医療や在宅医療などの現代的ニーズに関する教育を充実すること。 	/
28	大阪歯科大学	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 ■編入学生の受入れ実績に応じた入学定員(募集人員)の在り方について検討すること。 ■留年率及び退学率の低下に努めるとともに、入学者選抜試験の在り方や学生に対する学業及び生活面での支援等を検討すること。 ■優れた入学者の確保や最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■歯学教育モデル・コア・カリキュラムのF臨床実習に記載の全項目について、全ての学生が自験を行うよう努めること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ■最低修業年限での国家試験合格率の向上に努めるとともに、入学定員の在り方を含め検討すること。 ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。
29	福岡歯科大学	○		<ul style="list-style-type: none"> ■入学定員(募集人員)の削減に努めること。 	■なし